



愛知長久手ロータリークラブ 2016-2017



WEEKLY

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 日野典子 幹事 大島昭夫 会報 小谷恒夫

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



人類に奉仕するロータリー



本日 第 644 回夜間例会 2016 年 7 月 26 日(火曜日)第 636 号

<本日のプログラム> Today's Program

夜間例会「木曾路 東名店」

点鐘

受付 18:15

<ロータリーソング> 「それでこそロータリー」

開会 18:30

前回 第 643 回例会 2016 年 7 月 19 日(火曜日)記録

歓迎 ガバナー補佐訪問

<ロータリーソング> 「我らの生業」

<出席報告>

員総数 20 名

出席者 16 名 出席率 80.00 % 前々回補正出席率 86.00 %



カレーセット

<会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ

会長 日野 典子

瀬戸、尾張旭、瀬戸北の各ロータリークラブの会長、幹事様そしてガバナー補佐の古田嘉且様、地区副幹事岩月一郎様、分区幹事波多野智章様、地区スタッフ谷 泰男様、ようこそ愛知長久手ロータリークラブへお越しくださいました。

皆さんお忙しい中表敬訪問のご任務お疲れ様です。

愛知長久手ロータリークラブは、人数が少ないですが程よくまとまっております。ですので直接皆様と触れ合える距離であります。挨拶以外言葉を交わさない様なメンバーは居なくメンバー皆さんと話しが出来る間柄です。そこは少人数の強みでもあります。

そして、我がクラブは女性会員が 20 名中 6 名おります。名古屋のロータリークラブでは、まだ女性会員を入れていないクラブもある中で国際ロータリークラブとして新しい試みをしているクラブだと思います。これからの時代が女性でどの様になるのか。それも楽しみな愛知長久手ロータリークラブで例会を楽しんでごゆっくりしてってください。

<委員会報告>

■ニコボックス委員会■

・ガバナー訪問に伺いました。お世話になります。よろしくお願ひ致します。

国際ロータリー第 2760 地区 東尾張分区 ガバナー補佐 古田 嘉且
分区幹事 波多野智章

・本日も宜しくお願ひいたします。 国際ロータリー第 2760 地区

地区副幹事 岩月 一郎

地区スタッフ 谷 泰男

・本日はお世話になります。一年間宜しくお願ひ致します。

瀬戸RC会長 井上 博

・過日の国際大会ソウル明洞の繁華街において、泥酔、徘徊しておりました私
を宿方面までお送り頂き誠にありがとうございました。

瀬戸RC幹事 青山 稔

・一年間どうかよろしくお願ひ致します。

尾張旭RC会長 山田 直樹

尾張旭RC幹事 仲澤 昌容

・一年間よろしくお願ひ致します。

瀬戸北RC会長 須崎 侑三

瀬戸北RC幹事 奥田 桂良

・日野 典子 ・大島 昭夫 ・丹羽 司一 ・富田 盛義 ・白石政二郎 ・伊藤 広治 ・山田文明

・中川 清子 ・小谷 恒夫 ・青山 和成 ・田中 信子 ・林 正俊 ・奥野 悦弥 ・伊藤 真

・神谷 恵理 ・大月 涼子

<幹事報告>

① 次回例会 7/26(火)大月涼子さんの歓迎会を兼ねての夜間例となります。時間・場所につきましてはFAXにてご連絡をさせていただいておりますが、時間 18:15 受付 18:30 開会 場所は「木曾路 東名店」になります。よろしくお願ひいたします。

② 8/2(火)例会は11/6(日)地区大会・11/20(日)IMのPRに小牧RC・江南RCの方がお見えになりますので会員の皆様ご出席いただきますようお願いいたします。

<卓 話>

2016～2017 年度 東尾張分区ガバナー補佐古田 嘉且

ロータリー雑感・・・地区方針と規定審議会を中心に

今年度、東尾張分区担当ガバナー補佐を仰せつかっております、江南ロータリークラブの古田嘉且でございます。よろしくお願ひ致します。本日は、限られた時間での訪問ではありますが、地区方針及び 2016 年規定審議会決定事項を中心に、お話させて頂きたいと思ひます。

I. 地区方針

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人々に奉仕し、倫理感と高潔さを失わず、世界理解、親善、平和を推進することであります。

今年度、服部良男ガバナーは、ジョンF・ジャーム RI 会長方針の元に、IT 化推進を行ない、ロータリーの活動の記録を残し、親睦と奉仕の感動の共有を行ない、ロータリーの魅力の発信を行なうことを推奨されております。手続要覧によりますと、ロータリアンは、地域社会におけるロータリーの発展と、奉仕活動を改善するために、ロータリーとは何か、ロータリーが何をしているのかについて、広くクラブを紹介するよう求められています。

しかし、今、ロータリーは、何をしている。この問いに、誰も明確な答えは、返ってこない、広報は問題視されてきました。

公共イメージ大規模調査結果によれば、ロータリーについて、名前も聞いたことがない人が4割、名前だけ聞いたことがある人4割を含めて、8割が、ロータリーが何をしているか知らない、という結果でした。ロータリーは、意義ある活動を行なっているにもかかわらず、それが認識されておりません。これによって、ロータリーが持つ可能性を、最大限に引き出すのが難しくなっています。

日本の会員数は、1996年11月末の130,982人をピークに、3割以上が減少し、2016年3月末現在、88,667人で、9万人を切るようになりました。会員増強にも、広報は、深く関わっています。

ロータリーのIT化推進とは、公共イメージの向上が難しい今、情報通信上の技術を駆使して、一般社会に、飛躍的に広報しようとするものです。

ところで、国際ロータリーでは、創立100年を契機に、ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針として、ロータリー戦略計画を発表しました。2007年以来、RI理事会は、ロータリー戦略計画における3つの戦略的優先項目。すなわち、①クラブのサポートと強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上 を掲げ、その目標を実現するために努めてきましたが、その中でも、ロータリー戦略計画の中心となるものが、IT化推進であります。

一方、私達の価値観は、組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても、重視される要素であります。そこで、国際ロータリーでは、2007年、ロータリーの中核的価値観として、奉仕 (Service)、親睦 (Fellowship)、多様性 (Diversity)、高潔性 (Integrity)、リーダーシップ (Leadership) の5つを採択し、ロータリーブランドそのものを示す重要なものとしています。

国際ロータリーは、ロータリー戦略計画を遂行中であります。それは、ロータリーの輝きを持続可能にする戦略であり、中核的価値を再認識して、奉仕活動で仲間のロータリアンや、ロータリアンではない地域の人々に対して、その価値を認識してもらおうという、ブランドマーケティングだと言えます。

2016-2017年度、国際協議会にて、ジョンF・ジャームRI会長の方針は、服部ガバナーに伝えられました。服部ガバナーは、地区のビジョンとして、「10年後、20年後も地区の輝きが、持続可能であること」を掲げられました。

国際ロータリー第2760地区は、日本にある34地区の中でも、最も活性化し、輝いている地区の一つであるが、この地区の輝きが、10年後、20年後も持続可能であり続けるには、今、国際ロータリーが取り組んでいる戦略計画を、当地区でも実行することが必要不可欠であると、服部ガバナーは言ってみえます。

そのために、今年度、当地区に、「戦略計画委員会」が新設されました。「研修委員会」は、実行組織としての役割と、委員を変更し、地区の各委員会と戦略計画との調整を行ないます。また、My Rotaryの登録と利用の促進、Club Centralの活用、ソーシャルメディアの普及のために、「公共イメージ向上委員会」を新設し、広報部門を統合しました。

一方、今年度の最重点戦術として、オンラインツールとソーシャルメディアの活用を挙げてみえます。

具体的には、第1に、My Rotaryの登録と活用。50%の達成を目標とします。My Rotaryとは、2013年8月に、一新されたRIのホームページ会員専用サイトのことです。第2は、Rotary Club Centralの活用。100%達成を目標とします。Rotary Club Centralとは、クラブの年度目標を立て、進捗状況を確認し、目標を達成するためのものです。第3は、ソーシャルメディアによる広報です。まずは、各クラブのフェイスブック開設を目標としています。

さらに、My Rotaryに登録・利用し、そして、Rotary Club Centralを利用し、Facebook、Twitterなどの、ソーシャルメディアを活用できるロータリアンを、My Rotarian (マイロータリアン) と呼び、地区委員会や各クラブで選任してもらい、公共イメージ向上委員会が支援しながら、マイロータリアンの数と質を向上させることが重要となります。

ところで、今年度は、ロータリー財団設立100周年を迎え、各所で、これを祝う記念イベントが開催されます。当2760地区もこれに合わせて、「第4回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が10月22日~23日の2日間、昨年と同じ会場、栄地区 (久屋大通公園・希望の広場) にて開催されます。このプロジェクトは、各クラブ、地区をあげてのイベントであり、ロータリアン全員の参加型イベントとして位置付けされていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

II. 2016年規定審議会決定事項

2016年4月、シカゴで規定審議会が開かれました。そこで、ロータリーの方針の見直しを行ない、クラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしました。

何故、変更が必要なのでしょう？インド、韓国、ドイツ、台湾など、一部の国や地域で、ロータリーが急

速に成長している一方で、米国、日本、英国、オーストラリア、カナダなど、会員数の減少や会員平均年齢の高齢化と言った問題に、直面している国や地域もあります。

これまで15年間、ロータリーでは、会員資格、職業分類、クラブ運営に革新性を取り入れた試験的プログラムを実施してきました。これらの試験結果や会員からの報告によると、例会方法、会員資格、クラブへの参加方法などについて、クラブが決定できる柔軟性が多ければ多いほど、クラブに活気が生まれ、成長する傾向にあることが分かっています。

そこで、今回の規定審議会の決定により、すべてのロータリークラブは、例会や出席、クラブの構造、会員種類について、規定審議会が承認した新しいオプションを取り入れて、クラブ細則を修正することが可能となりました。具体的には、

- ・ 例会の曜日と時間を、自由に決定する
- ・ 必要に応じて、例会を変更または中止する
- ・ 奉仕プロジェクトまたは、社交行事を「例会」とみなす
- ・ 直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、その両方を交互に行なう例会、あるいは、両方の方法を同時に用いる例会のいずれかを選ぶ
- ・ クラブ例会を少なくとも月2回開催する ことなどです。

ただし、ここで注意して頂きたいことは、これらの規定審議会の決定は強制ではないので、標準ロータリー定款の現行の規定に変更を加えるものではありません。例会や出席、クラブの構造、会員種類について、変更を採用することをクラブが選択する場合は、クラブ細則を修正する必要があります。

一方で、これらの変更を加えないことを選択するクラブは、従来と同じ方法を取り続けることが出来るということです。

また、その他の決定事項としては、

1. Eクラブと従来型クラブを区別する必要性がなくなったこと
2. 会員種類について、クラブが地元のニーズに応じて準会員、法人会員、家族会員など、新しい会員種類を追加できるようになったこと
3. ロータリークラブ入会の資格を満たす現役ローターアクターが、ローターアクト会員であり続けると同時に、ロータリークラブに入会できるという二重会員身分
4. RI細則とクラブ定款から「入会金」が削除され、新会員は入会金を支払わなくても入会できるようになったが、これは各クラブの裁量で今後も、クラブ細則に加えることで、入会金を徴収できる。以上、いずれの変更も、2016年7月1日に有効となります。

しかしながら、規定審議会の変更があったからと言って、今、慌てて理事会等で、決議する必要はないと考えています。12月のクラブ総会までに、各クラブにおいて、クラブ定款・細則に、十分議論を重ねて決定して頂ければと思っています。

Ⅲ. ロータリー雑感

今、ロータリーが大きく変わろうとしています。ロータリーが創立された当時は、いかにして利潤を独占しようかと、資本家が弱肉強食の競争に明け暮れていた時代でした。もしも、この街の中で、心から何でも相談できる、また語り合える友人が居たらどんなにすばらしいことだろう。そういう発想から、ロータリーは生まれた。

親睦と相互扶助から始まったロータリーは、アーサー・フレデリック・シエルドンの影響を受けて、職業奉仕に基づいた販売学の導入を受け入れて、大きく発展しましたが、やがて、社会奉仕活動に大きく転換し、今や世界最大のNPO組織として、大規模なボランティア活動に専念するとともに、会員同士による積極的な相互扶助活動に、回帰しようとしています。

ロータリーは、何処に進もうとしているのでしょうか。

RI第2680地区 田中毅パストガバナーによれば、1970年代後半から、ロータリーは、大きな危機の時代に突入し、その原因として、第1に、経済システムが大きく変化し、虚業的投資会社が現われて、経済の実態を変えると共に、職業倫理の低下をもたらしたこと。第2に、奉仕哲学の変化と間違った解釈。第3に、国際ロータリ

一の組織が巨大化、中央集権し、活動方針が変化したこと。第4に、クラブの管理運営が変化し、親睦が欠如し、クラブ例会が形骸化したことなどを挙げられています。

従って、これらの諸問題を解決することによって、ロータリーは、奉仕クラブとして、発展することができると言われてしています。

ところで、ロータリーは、ロータリー運動の概念を現す言葉であって、その原点となるのは、ロータリアン個人です。そのロータリアンの集合体が、ロータリークラブであり、ロータリークラブの連合体が、国際ロータリーです。国際ロータリーは、ロータリークラブの連合体であって、個々のロータリアンを規制する権限は、持っていません。

国際ロータリーのテーマ、動向、要請を十分に理解することは、大切なことです。忘れてはいけない事は、ロータリークラブやロータリアンは、定款や細則に違反しない限り、どのように考えるか、どのような行動をとるか、自由なのです。これがロータリーにとって重要な自治権であり、逆に、難しいものなのです。

何事でもそうですが、原点を知り、原点を大切にします。人や組織が成長するための基本だと思います。すなわち、ロータリー運動が、飛躍的に発展した、創立当初の奉仕理念の原点を探って、その原点に回帰しようとする努力が、必要ではないのでしょうか。

例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として、奉仕の心が生まれる。そして、例会で学んだことを奉仕活動として、実践する場が、家庭、職場、地域社会、国際社会などの社会です。これが、「入りで学び、出でて奉仕せよ」です。ロータリアンの奉仕の実践の全てが、この言葉に、凝縮されています。今一度、思い起こす必要があるのではないのでしょうか。

2012-2013 年度国際ロータリー会長 田中作次氏は、ロータリーは、忍耐と寛容と謙虚さが大切と言われてしています。この三つの言葉をもって、ロータリー活動を実践していくならば、ロータリアンとして、素晴らしい日々を過ごせるとも言われています。

その田中作次元 RI 会長に、基調講演をお願いし、2016-2017 年度東尾張分区 IM を 2016 年 11 月 20 日（日）、名鉄犬山ホテルにて、開催させていただきます。当日は、田中作次元 RI 会長との質疑応答の時間を、十分、取っておりますので、皆様の参加をお待ちしております。よろしくお願い致します。

ロータリーに入会した時、ロータリーの本質は「出会い」であると、よく言われました。「善き仲間との出会いが、ロータリーの目指すところである」と言う方も少なくありません。

奉仕とは、他者への働きかけであるように見えて、実は、自分との戦いであり、結果として、心の豊かさが与えられるもの、ではないのでしょうか。

皆様との「善き出会い」に、心から感謝申し上げます。本日は、お忙しい中、ご清聴頂きまして、本当に有り難うございました。



8月2日(火)	8月9日(火)	8月16日(火)	8月23日(火)
祝福・卓話 IMPR/地区大会PR (トヨタ博物館)	同週祝日振替休日	休 会	卓話 (トヨタ博物館)